

令和2年2月21日（金）

件 名 参議院外交防衛委員会の岩国市訪問について
概 要 このことについて、下記のとおり訪問され、愛宕スポーツコンプレックスの視察が行われましたのでお知らせします。

記

1 日 時：令和2年2月21日（金）8：35～10：10

2 訪問者：参議院外交防衛委員会

委員長	北 村 経 夫	（自 民）
理 事	宇 都 隆 史	（自 民）
理 事	中 西 哲	（自 民）
理 事	秋 野 公 造	（公 明）
理 事	井 上 哲 士	（共 産）
委 員	榛 葉 賀津也	（立憲・国民・新緑風会・社民）
委 員	浅 田 均	（維 新）

3 応対者： 岩 国 市 長 福田 良彦
岩国市議会議長 藤本 泰也
岩国市議会副議長 片岡 勝則

4 視察先：絆スタジアム、陸上競技場、カルチャーセンター

5 市長の説明概要

○日米交流や安心・安全対策への取り組みについて

愛宕山の運動施設等を活用しながら、スポーツや文化の交流推進に取り組んでいることや、アメリカ・女子ソフトボール、フェンシングのオリンピック事前キャンプ地に決定されたことなど

米軍との防災協定締結、安心安全共同パトロールやセーフティブリーフィングの実施、セーフティドライビングスクールの開催など安心・安全対策への取り組みを具体的に進めていること

○在日米軍再編の概要などについて

2度のオスプレイ陸揚げ、普天間基地からのKC-130空中給油機の移駐受け入れによる沖縄の負担軽減、F-35Bの岩国飛行場への配備、厚木基地からの空母艦載機の移駐など

○空母艦載機の移駐後の影響や取り組みについて

空母出港前の4月、5月に騒音が増大し、苦情が増えている状況

騒音軽減措置、再編交付金の延長、防音工事の事業所・店舗等への拡充などを国に要望していること

（次頁に続く）

○滑走路沖合移設事業と愛宕山用地における施設整備について

滑走路沖合移設による騒音軽減や、愛宕山スポーツコンプレックスの整備の経緯のことなど

○岩国錦帯橋空港について

軍民共用空港として開港後、現在まで好調な搭乗率を維持しており、利用者が 300 万人に達成したことや、立体駐車場を整備したことなど

○自治体首長として

岩国市はこれまでも国の安全保障政策を尊重し、基地の安定的な運用に協力してきたが、市民の安心・安全を守るため基地のあるまちの首長として、言うべきことは言うというスタンスを保ちながら、様々な機会を通じて国や米軍と地域の実情などについて意見交換をし、または連携しながら現実的な対応をしていること

米軍とは司令官との意思疎通をしっかりと行っていること

○その他について

基地交付金や再編交付金を活用し、様々な国際交流事業や英語教育の推進や防災への取り組みなど、事件・事故のない住みよいまちづくりを目指して色々な取り組みを行っていること

6 終了後のぶら下がり取材の発言要旨

(北村委員長)

○どのように愛宕山が活用されているのかというのを拝見したが、立派なスタジアム等、いろいろできており、きちんとアメリカと日本の関係がうまく、そして福田市長をはじめ岩国市も、それに応えて色々な活用をしていただいているという風に思った。素晴らしい流れになっているのではないかと思う。事業所などにも防音工事が行き渡るよう予算の獲得、そして再編交付金が令和三年度で切れるので、その延長という要望もあったが、国会で審議しながらしっかりと見極めていきたいと思っている。

(市長)

○今日は、岩国での色々な取り組み、安心安全対策とか、地域振興や日米交流などについて説明した。議員からは岩国の取り組みについて高い評価を頂くと共に、残った諸課題については国会の場でしっかりと応援をしていきたいという心強いお話をいただいた。大変有意義な時間であった。

○防音の店舗・事務所への拡大や再編交付金の延長について、国と協議しており、その辺の応援もお願いした。議員からは市の状況、背景を御理解いただいてしっかりと応援をしていきたいという言葉があった。

(議長)

○議会としても、再編交付金や住宅防音の件については、議員から、しっかりと関係市町村とも連携を取りながら下からあげてもらおうと動きやすいという話があったので連携して動いていきたい。

問合せ先	基地政策課	TEL0827-29-5024	FAX0827-21-3572
	議会事務局庶務課	TEL0827-29-5190	FAX0827-21-1001